

体罰問題のここがおかしい!!

- 1 「体罰」の定義がはっきりしていない。どこまでやれば体罰で、言葉だけの責めでも体罰として認定されるのか。
- 2 真相究明もされておらず膿も出し切っていない中で、再発防止も掲げることなく**新入生を募集**するのはいかなものか。
- 3 体罰問題に関わった**教員の処分が速やかにされず**、体罰を行った教員が普通授業を担当し続けていた。普通授業では体罰はしていなかったから、代替の教員が見つからないからなどの理由はいかなものか。
- 4 今回の体罰問題は教育委員会が独自で調査を行っているが、なぜ**第三者委員会を立ち上げない**のか。その基準がない。
- 5 5月21日に発表された「**尼崎市立尼崎高等学校男子バレーボール部における体罰事案について(報告)**」をはじめ、体罰事案の**報告書が公開されていない**。
- 6 5月7日午後に教育委員会がバレーボール部の体罰を認識した後に、5月16日に**臨時総合教育会議**が開かれたが、それが開催されることすら**公開されていない**。
- 7 大阪市立桜宮高校の体罰問題の後、全国調査に先駆けて**尼崎独自のアンケート調査**に取り組んだが、**体罰を明らかにすることはできなかった**。
- 8 体罰の有無のアンケート調査だけではなく、**声なき声をどう救い上げるか**の方法がなかった。
- 9 硬式野球部が独自に調査した結果を、教育委員会に報告なく高野連に報告しており、その独自調査が適正かも不明で**ガバナンスがまったく機能していない**。
- 10 いつまでに真相を究明し、いつまでに膿を出し切り、いつまでに再発防止策を掲げるか、**期限を切った計画が示されていない**。

維新の会の考え

今回の2019年6月 第11回定例会の一般質問の場で、教育委員会に対して徹底的に問い質してまいりました。その結果、

- ①総合教育会議の配布資料は情報公開条例に反しない範囲で公開し、議事録の作成・確認・公開もすみやかに行うよう努める。
- ②総合教育会議が非公開でも開催の事実は事前に公表し、議事録についても公開が可能な範囲で公表する。
- ③児童生徒、保護者、教員全体で体罰に対する定義の理解を深め、体罰根絶に向けた取組について周知していく。
- ④教育委員会のホームページに体罰についてのページを新設し、そのページに報告書をアップしていく。
- ⑤声なき声を救い上げるために、市のホームページ上に体罰の通報窓口を6月中に設ける。
- ⑥硬式野球部が教育委員会に報告内容の確認を取ることなく高野連に報告したのは極めて不適切な事務処理であり、ガバナンスが機能していないと指摘されても仕方のない状態で、強く指導を行った。

という答弁を得ました。

しかしながら、まだ教員の処分も出されないまま普通授業を担当させ、真相究明はおろか膿も出し切れていません。

来年4月に新入生を迎えるには、いつまでに真相を究明し、いつまでに膿を出し切り、

いつまでに再発防止策を掲げるか、期限を切って実行していくべきです!

この体罰問題を通して、教育委員会のおかしい部分を**徹底的に指摘し、改善・改革を強く促していきます!**

尼崎市議会

維新の会

通信

Vol.12
2019 夏号

東京オリンピックの聖火が尼崎を走ります!

～ 祝・聖火リレーのコースに決定! ～

機会あるごとに会派の議員が訴え続けてきた聖火リレーの尼崎への誘致が実現!

いよいよ2020年5月25日(月)に、オリンピックの聖火が尼崎を走ります。1964年の前回のオリンピックでは台風の影響で中止となった幻の聖火リレーを、56年ぶりにぜひ実現したいと、ただひたすら関係者に訴え続け、ようやく実現させることができました。聖火は、西宮市から自動車で尼崎のリレーの出発地である尼崎市記念公園陸上競技場に到着し、尼崎城がある尼崎城址公園までリレーされ、次の聖火リレーコースである三田市まで再び自動車で移動する予定とのことです。尼崎での聖火リレーが多くの方々の記憶に残る素晴らしいイベントになるよう、関連行事の実施も含めて早急に準備を進めていく必要があります。引き続き市の積極的な取組を促していきます!



実現!! いじめ相談アプリ「STOPit」導入決定!

(ストップイット)



小学校6年生で7割、中学校3年生では9割近くが携帯やスマートフォン等を所持している。10代の平日1日のコミュニケーション系メディアの平均利用時間について、総務省によると携帯電話通話が2.8分に対して、ソーシャルメディア利用が57.8分と圧倒的に利用が多くなっている。こうした状況からいじめの相談体制を「電話からSNSへ」動きが広がっている。

「STOPit(ストップイット)」とは

元米大リーグ松井秀喜氏がサポーターを務める匿名でのいじめ報告・相談アプリです。米国で開発され、米国の約6千校、約277万人が利用、現在は国内でも利用する学校が増えており、内容は匿名で送ることができ、「助けたいとき、助けてほしいとき、いつでもどこでも報告・相談ができる」もので、学校名と学年だけが伝わる。また文書だけでなく画像や動画を添付して送れるのが特徴で、いじめっ子が「携帯を見せる」と言ってきて、見せても送った内容が映らないようになっている優れたもの。



先進市では

千葉県柏市が平成29年5月からいじめ相談アプリ「STOPit(ストップイット)」導入。昨年5月の導入から現在まで131人から相談(電話相談をはるかに上回る件数)

相談の流れ

- ①子どもは学校から帰ってきて相談内容を送信
- ②翌日9時～17時に指導センターの心理カウンセラーが返信
- ③それをまた子ども帰宅後見て送るという流れです。子どもと相談員が互いに文章を書き込み合って状況を共有し、解決を探る仕組みとなっています。導入している柏市に聞くとこの流れがいいとの事です。

平成30年3月予算議会で維新の会は予算修正案を提出し、ストップイット導入の予算額についても提案しました。

所属議員、役職の紹介

今年も我々維新の会自らが身を切る改革を進め、尼崎市民の皆様の暮らし改善に努めます。

<p>2期目 健康福祉委員会 委員 国民健康保険運営協議会 委員</p> <p>やすなみじゅんいち 幹事長 生年月日: 1955年6月6日 年齢: 64歳 大阪経済法科大学 法学部卒業</p>	<p>2期目 総務委員会 副委員長 都市美審議会 委員 環境審議会 委員</p> <p>くぼたかあき 副幹事長 生年月日: 1960年9月27日 年齢: 58歳 関西大学 商学部卒業</p>	<p>2期目 健康福祉委員会 委員長 阪神水道企業団 議会議員 障害者福祉専門分科会 専門委員</p> <p>くすむらしんじ 政調会長 生年月日: 1969年3月29日 年齢: 50歳 尼崎市立武庫東中学校卒業</p>	<p>2期目 文教委員会 委員 子ども・子育て審議会 委員 青少年問題協議会 委員</p> <p>みつもとけいすけ 副政調会長 生年月日: 1979年8月2日 年齢: 39歳 甲南大学 法学部卒業</p>
<p>1期目 経済環境企業委員会 副委員長 土地開発公社 参与 住環境整備審議会 委員</p> <p>べつぶんいち 総務会長 生年月日: 1967年5月24日 年齢: 52歳 関西大学 文学部卒業</p>	<p>1期目 建設消防防災委員会 委員 高齢者保健福祉専門 分科会 専門委員 総合計画審議会 委員</p> <p>にしふじあきこ 副総務会長 生年月日: 1968年4月9日 年齢: 51歳 甲南女子大学 文学部卒業</p>	<p>1期目 経済環境企業委員会 委員 スポーツ推進審議会 委員</p> <p>つじのぶゆき 会計責任者 生年月日: 1970年6月23日 年齢: 49歳 大阪商業高等学校卒業</p>	

〔発行元〕

尼崎市議会 維新の会

〒660-8501
兵庫県尼崎市東七松町1丁目23-1
TEL:06-6489-6399 FAX:06-6489-6458
http://ama-ishin.jp/



当会派報は、会派に支給される政務活動費を利用し、発行・配布を行っております。



一般質問・総括質疑

我々、尼崎市議会 維新の会のメンバーは、
尼崎市議会において、尼崎市の現状の問題を
はじめとし、尼崎市の未来を考え耳心地の
良い事ばかりを申しません。
だからこそ、

- ・積極的に一般質問・総括質疑に立ち
- ・積極的に登壇して課題を追及し
- ・提案型の質疑を行い

是々非々でこれからも、邁進してまいります。
是非、ご支援をよろしくお願いたします。

IR・万博への本市からの海上交通について。

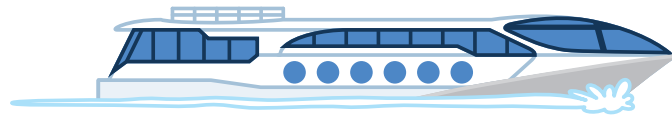
【質問】IRで働く人が全国各地から集まるため、**尼崎の南部臨海地域に住んでもらうのはどうか。また、尼崎港から夢洲地区への海上交通を確保できないか。**

【答弁】(都市整備局長) 南部臨海地域は工業専用地に指定しており、立地適正化計画においても、居住誘導区域に含めていないため、住宅地への土地利用転換は考えていない。

また、尼崎港と舞洲を結ぶ航路については、港湾物流を行っている関係団体から、国・県・市に対し、尼崎港を人や物資の海上輸送基地として早期利活用できないかといった働きかけを行

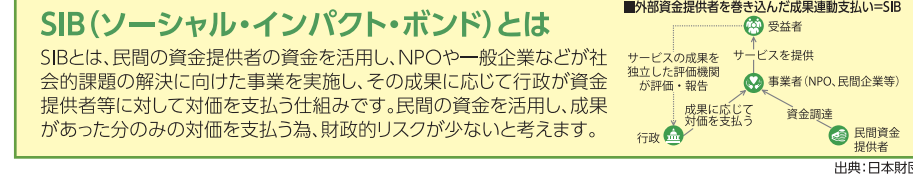
いたいと聞いている。こうした関係団体や府・県等の動向を注視していく。

【要望】尼崎、海岸町から夢洲まで船で10分かからない距離にあります。この立地の良さを活かし、尼崎に大きな駐車場を作り西から来る車を尼崎に駐車して、海上バスや海上タクシーで万博会場まで行ってもらう、渋滞も無く楽に行ける、是非尼崎から船で万博会場へ。



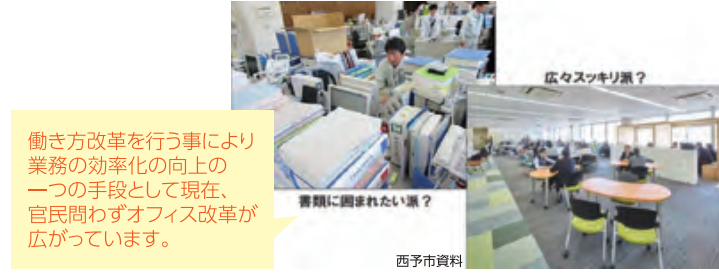
官民連携による社会的課題解決の仕組みの活用について ～SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)の活用依頼～

【質問】SIB導入で社会的課題解決と固定経費効率化が可能と考えるが如何でしょうか？
【答弁】(総合政策局長) 社会的コストを削減する事業が実施できれば、固定経費の効率化につながると考えます。
【要望】他都市に先んじて新たな取り組みにチャレンジし新たな行財政改革を行うて頂く事を要望しました。



役所のオフィス改革(フリーアドレス)実施について ～まずは、机周りの整理→ペーパーレス化→印刷時間や紙の削減が可能に～

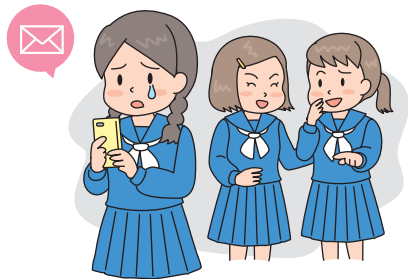
【質問】オフィス改革の実施はどういった効果があると考えていますか。
【答弁】(総務局長) コミュニケーションの活性化や仕事の効率化が期待され、一人ひとりの意識改革が伴うことで効果があるものと考えています。
【要望】ワークライフバランスや働き方改革、生産性の向上と理念は素晴らしいが、同じやり方をしていても理念だけに終わってしまいます。まずは、出来る所から前に進めていただくよう要望しました。



いじめ相談アプリ「STOPit(ストップイット)」を 2019年下半年期から導入決定!

■平成30年3月 第4回定例会 予算特別委員会 総括質疑
【質問】これからは子ども達の「相談の選択肢」を広げることが重要。不登校や重大事態な問題に陥る前の早い段階で解決するためにもストップイットなどSNS等を使った相談体制を構築すべきではないか。
【答弁】(教育委員会) ストップイットなどSNS等を使った対応が有用かどうか、先進市の状況も勘案しながら検討してまいります。

■平成31年3月 第10回定例会 予算特別委員会 総括質疑
【質問】子どもの自殺が1年で一番多い、夏休み明けまでに相談体制の構築を目指されてはどうか。
【答弁】(教育委員会) なるべく早く問題解決できるよう努めてまいります。



市立尼崎高等学校の体育科について

【質問】尼崎高等学校での学校説明会開催は適切か。再発防止策を掲げてから新入生募集するべきと考えますがいかがでしょうか。
【答弁】(教育次長) 体罰をした指導者の問題だけではなく、様々な課題が複合的に絡み合っていると考えています。再発防止策については、時間を要しますが、一方で、入学希望生徒が、安心して高校受験を目指していただく環境を整える努力を行

(2019年6月 第11回定例会 一般質問)
光本 けいすけ



うことも大切だと思います。このため、早期に実態調査と、厳正な対処を進めて、今、教育委員会及び学校ができることは、順次、整理をして説明し、在校生及び入学希望者に対する情報発信を積極的に行います。

怒り! 「安心できる環境」が整っておらず、いつ整うかも明言されず、解決策が決まっていないのに、新入生募集するのはおかしい。4月までに再発防止策を掲げると明言し、実行していくべき!

各種税金のキャッシュレス決済について

【質問】平成29年3月の総括質疑で質問・提案した「各種税金のキャッシュレス決済(クレジットカード納付)」の検証、検討の経緯と結果はどうか。また、導入の障壁は何か。
【答弁】(資産統括局) 他都市の納付額ベースにおけるクレジットカード納付の割合について、適宜調査した結果、いずれの市も概ね1%程度で、口座振替などの納付方法と比べて低い割合となっている。しかしながら、クレジットカード納付

については、納税者の利便性の向上につながるものと考えられ、他市においても導入の動きが進んでいることから、令和3年1月稼働予定の税務系新システムに併せて導入について検討している。

達成! 提案し続けていた各種税金のクレジットカード納付が令和3年1月からスタートすることが決まりました。税金の納付方法を増やすことで、納税者の利便性を高めたいという考えが私にはあります。クレジットカードで納付すればポイントやマイルが貯まることもあり、納税者にメリットがあります。また、この決定は今後ますます「LINE Pay」や「Apple Pay」などのキャッシュレス化が加速していきますので、それにも繋がる改革となります。

住宅耐震改修促進事業について

○簡易耐震診断推進事業の予算が平成29年、30年共に3,100,000円、予算執行率は、29年99.37%、30年98.76%に対して、住宅耐震改修促進事業の予算が平成29年、30年共に34,507,000円、予算執行率は、29年は**37.28%**、30年は**39.39%**と低い数字になっています。
○耐震工事の立替金額が多い場合は、100万円となります。そこで代理受領制度の導入を行う事により一時的な費用の負担軽減がはかれます。**代理受領制度とは、申請者(建物所有者)との契約により事業者(耐震改修工事等)が、申請者からの委任を受け、補助金の受領を代理で行うことができる制度です。**この制度を利用することにより、申請者は工事費等と補助金の差額分のみ用意すればよくなり、当初の費用が軽減されます。つまり補助金部分の自己資金が不要になり申請者は、一時的にでも立て替えなくてもよくなる為、耐震化促進事業を申請し易くなります。

【質問】遅くとも次年度からの(代理受領制度)取組は可能でしょうか?出来なければその理由もお聞かせください。

【答弁】(都市整備局長) 代理受領制度は申請者の資金調達の負担を軽減できる制度であることから、来年度の実施に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

【要望】住宅耐震改修促進事業については、兵庫県内で41市町の内、今年6月現在で神戸市、宝塚市、明石市、加古川市、高砂市、姫路市、赤穂市の7市町で実施されています。6月より三田市も代理受領開始予定です。代理受領を認めていただく事で、耐震改修工事において市民が自己資金不足で二の足を踏む事のないよう、出来るだけ早期の改善を要望致します。

(2019年6月 第11回定例会 一般質問)
別府けんいち



大阪・万博とIRを見据えた南部臨海再開発について

【質問】万博、IR予定地の大阪南港、舞洲と本市の距離は1.1キロ。阪神線以南(船出や東海岸町など)、**住宅地開発を考えてみてはどうか。**

【答弁】(経済環境局長) 阪神線以南には、用途地域上、住宅の立地が可能な地域も一部指定している、東海岸町や船出を含む国道43号線以南の臨海地域は古くから工業地として利用され、今後も事業所の良好な操業環境の保全を目的に、工業専用地域に指定している臨海地域において、住宅や宿泊施設の誘導は考えていない。

(2019年6月 第11回定例会 一般質問)
西ふじあき子



また、「尼崎市立地適生化計画」も、同様の理由で産業集積拠点の推進・強化を図る地区とし、居住誘導区域に含めていない。

【要望】ルールを決めているのは行政、市政の未来のため変更出来るものは変更し、尼崎が旗を振って二度とないビッグチャンス、大阪と県とのコンセンサスを図っていただきたい。



東京オリンピックの聖火リレーに合わせた市の取組について

【質問】東京オリンピックの聖火リレーのコースが決定。中止となった前回1964年から56年ぶりに尼崎市での聖火リレーが実現。議員になって以降、聖火リレーのコース誘致を訴え続けてきた私にとってこの決定は大変喜ばしく、尽力していただいた皆様に感謝申し上げます。これまでも提案してきましたが、**聖火リレーのタイミングに合わせて市独自のイベントを検討すべきであると考えますが市の考えはどうか。**

【答弁】聖火リレーのルートに正式決定により、市民のスポーツへの興味・関心をより高め、尼崎の魅力と歴史を国内外に発信する

機会となるよう、成功に向けた準備を着実に進めていく。今後、聖火リレーの実施を契機とし、行政のみならず産業団体など様々な主体においても活発な取組が行われ、全市一体となってオリンピックイヤーを盛り上げるよう機運の醸成に努めていく。

【要望】市独自のイベントについては早急に検討を。聖火リレーが記憶に残る素晴らしいイベントになるよう取り組んでいただきたい。「東京オリンピックの聖火が尼崎を走ります!」ということを全市民に伝え、聖火ランナーの応募方法もしっかりと周知してもらいたい。

(2019年6月 第11回定例会 一般質問)
辻のぶゆき

